

## 算数科 活動報告

部長 高松 豊（津川小）

副部長 長谷川 覚（上条小）

### 1 研究主題

『数学的思考力を育てる指導方法の工夫』

～基礎・基本の確かな習得と活用を図る授業づくりを通して～

### 2 研究内容・方法

(1) 算数実践情報交換会 (2) 講話 (3) 指導案検討会 (4) 授業研究

### 3 活動の実際

期日	主な活動内容	会場
4月13日（水）	○研究計画の立案 ・部長、副部長の選出 ・今年度の研究計画作成	三川小学校
5月11日（水）	○算数実践情報交換会 ・W a b 配信診断テストの活用法 ・教科書やスキルの活用法	三川小学校
6月15日（水）	○講話 「基礎・基本の確かな習得と活用を図る授業づくりを通して」 阿賀町学習指導センター 指導主事 長谷川 敦 様	津川小学校
8月24日（水）	○指導案検討会 9月実施の授業研究に向けた指導案の検討会を行った。	ふるさと交流 川屋敷
9月14日（水）	○授業研究 2学年算数科 「水のかさ」 ・授業者 上条小学校 教諭 金子 康太郎先生	上条小学校

### 4 成果と反省

(1) 5月11日（水） 算数実践情報交換会

○数学的思考力育成に向けての各校、各自の実践を交流し合った。特に昨年度2学期からスタートしたW a b 配信診断テストの取組状況を紹介し合うことにより、各校における今後の実施に向けたヒントを得ることができた。

(2) 6月15日（水） 講話

○阿賀町学習指導センター 指導主事 長谷川 敦 様 からのご指導

☆基礎・基本の確かな習得と活用を図る授業づくりをするために、教科書の特徴を生かした指導や算数的活動の工夫が重要視されている。

☆具体的な課題による指導

3年上「大きな数」

5年上「単位量あたりの大きさ」

5年上「分数の約分」

問題ごとに、県全体と町全体の正答率、誤答率、無答率を示し、解説をしていただいた。

### (3) 8月24日(水) 指導案検討会

○9月, 算数部授業研究の単元である2年「水のかさ」単元について, 部員一人一人が作成してきた実践例等を交流し合い, よりよい指導案を目指して活発な検討が行われた。

- \* 第2学年算数科「かさ」の指導について (西川小・柳)
- \* 自分の考えを整理し、表現する力を育てるための指導の工夫 (三川小・佐藤)
- \* 2年生「水のかさ」の実践 (三郷小・小島)
- \* 2年生「水のかさ」の本時の展開 (西川小・榊原)
- \* 算数単元指導計画「2年生 水のかさ」 (上条小・長谷川)
- \* 数学的な考え方を育てる2年生「水のかさ」 (三川小・笠間)
- \* 2年生「水のかさ」指導案 (上条小・金子)

### (4) 9月14日(水) 授業研究 2年「水のかさ」授業者 上条小 金子康太郎 先生



#### ①課題提示の工夫

本時では、実際の量が入ったジュースを用意し、それを操作しながら課題を捉えさせるようにした。実物を見せることで、見通しをもって課題解決に取り組むことができた。また、計算をした結果と実際のジュースを操作した結果とを比較して確認することを取り入れたことで、量感を伴った理解として深めることができた。

#### ②かさの加減を作業的・体験的に比較できる支援教具やワークシートの工夫

6dL + 8dLと2L 4dL + 1L 8dLの課題について、ジュースの量を図で表したワークシートを用いて自力解決に取り組ませたことで、図を操作しながら答えと計算の仕方を導き出すことができた。

#### ③「個人→ペア→全体」という形式で伝え合う場を設定

自分の考えをまとめる際に、「はじめに」「次に」「そして」という言葉を使ってまとめさせたことにより、筋道立てて自分の考えをまとめたり、友達に説明したりすることができた。

▲ペア発表や全体発表の際、自分がかいたワークシートだけの説明で終始してしまった。ブロックや図などを操作させながら説明させていれば、より確かな理解につなげることができたのではないかと。

▲ペア発表や全体発表を行う際、何について話し合うかが漠然としていたため、妥当性や有効性などの観点を明確にして話し合わせる必要があった。